

本当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

# 無碍の一通 第60号

発行：2018年3月14日  
発行者：浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺  
〒739-0147 副住職 天野英昭  
東広島市八本松西6丁目10番1号  
☎FAX 082-428-0160・082-428-1360

## 春季彼岸会並びに永代経法座

日 時 3月23日（金）



ご講師 堀 靖史師（志和東 光源寺副住職）

朝席 9時～11時頃  
昼席 13時～15時頃

## 第77回歎異抄輪読会

日 時 3月22日（木） 19:00～20:30頃

ご講師 松田正典先生（広島大学名誉教授）

費 用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です。

## ★ 磐松天龍寺墓苑合同墓春彼岸法要

日時 3月21日（水）15:00～16:00

※ 大変お忙しい時期とは存じますが、多数のご参拝を念じ申し上げます。  
但し、天龍寺墓苑合同墓での参拝は、関係者の方のみとさせていただきます。

☆ 天龍寺佛教壯年会例会 3月31日（土）19:00～20:30

## ダーナ募金活動のお礼

昨年同様に、ダーナ募金活動にご協力・ご支援等を賜りました事、書面をお借りしまして厚く感謝申し上げます。ご寄付いただきました淨財は、佛教婦人会総連盟事務局を通じてユニセフ、あしなが育英会等また災害見舞金に、志和、八本松地区の福祉施設等に寄付をさせていただきますことをご報告させていただきます。

## 天龍寺仏教婦人会法座並びに演奏会のご案内

日 時 4月15日（日） 10:00～15:00頃

ご講師 松林 行圓 師（安芸高田市 善立寺住職）

演奏者 小玉友里花（声楽）・高野泰輔（ピアノ）

日程	10:00 法要（讃仏偈）、初参式	13:00 追悼法要（仏説阿弥陀経）
	11:00 演奏会	13:30 法話（2席）
	11:40 昼食	15:00 法要終了予定

### 演奏者プロフィール

声楽 小玉友里花

見真学園広島音楽高等学校卒業 東京芸術大学声楽科を首席で卒業  
同大学院修士課程修了 平成26年に皇居内桃華楽堂にて御前演奏会  
第84回読売新人演奏会出演 現在東京芸術大学博士課程に在籍

ピアノ 高野 泰輔

秋田県出身 東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程在籍  
第58回全東北ピアノコンクール東北放送賞受賞  
東京芸大シンフォニーオーケストラ等と共に演他



## 私という存在 Ⅱ

仏教では、人生を生死海と表現すると以前ご教示をいただいたことがあります。おギャーと言ってこの生を受け、物心ついた時から、いとも簡単に崩れ去っていく家族・財産・健康等と少なくとも頭の中では理解しながら、その様な物にしがみつき、大きな風が吹きそれに伴い大きな波によってその物が流されないか等と常に心配・不安・恐怖を感じながら毎日必死で泳ぎ、時に本当に大きな波が押し寄せ、目をそむけることが出来ない事実などに遭いながら、おぼれながらも必死で泳いでいる自分の姿を想像することができます。

一方で、よく申しますが、勝った・負けた・得した・損した、今日は健康だ・今日はどうも身体の調子がよく無い等といながら、大きな海を泳ぎながら浮き沈みを繰り返しながら毎日を過ごしている自分も想像することでもあります。

少し話は展開しますが、仏教では、人間の知性・経験・学問等を基盤にして考えて生きて行くことを虚妄顛倒と以前ご教示をいただいた事があります。虚とはむなしい。妄とは間違っているという事です。つまり基盤としてはいけない物を基盤として生きて行く生き方の事だと伺いました。

また、仏教の唯識の考えでは、人間の知性的な考え方・体験・信念等という基盤には汚染が入っていると言われた事がありました。この汚染こそが自己中心的な考え方、すなわち我愛・我見等の事です。